

自動車向け市場を開拓

フェローテックHD

フェローテックホールディングス(東京都中央区)は、自動車産業分野向け事業である「オートモーティブプロジェクト」の取組みに注力している。

次世代自動車に採用を見込む、各種製品を展開する。真空シールにも用いられる磁性流体の関連製品では、磁性流体のナノ技術をベースとして、高周波数でも磁気応答性が優れたコンポジット製品「Hzero」や、ゼロ点付近の精度が高い直流電流測定用センシングデバイス「高精度直流測定センサ」などのアプリケーションに注力する。また、サーモモジュール関連では、バッテリーヒーター／クーラー、CMOSイメージセンサークーラー、カップホルダーなど、電気自動車・ハイブリッド車の温度制御やシステムクーリングから、ドライバーの運転をサポートするアプリケーションなどを開発した。さらに自動車用のモジュール製品での利用が期待されるパワー半導体用

DCB基板などもラインナップした。

本年1月15～17日に東京・江東区で開催された「オートモーティブ ワールド」では、こうした製品のほか、ペルチェ素子を使用し、温度調節が可能なステアリングヒーター／クーラー(写真)やウェアラブルジャケット、自動車分野でのニーズが高まる窒化ケイ素を用いたパワー半導体用AMB基板などの開発品を新たに展示した。

